

ご注文は0000ですか？



成人向













あっはい！  
ご注文文  
お決まりでしょうか

おいつ  
きみ



うむ…

きみ  
新人さん？

あ…はい  
夜のシフトは  
今日からですが…？



よし  
気に入った  
店長  
この娘で頼む

さすが山中様  
お目が高い！

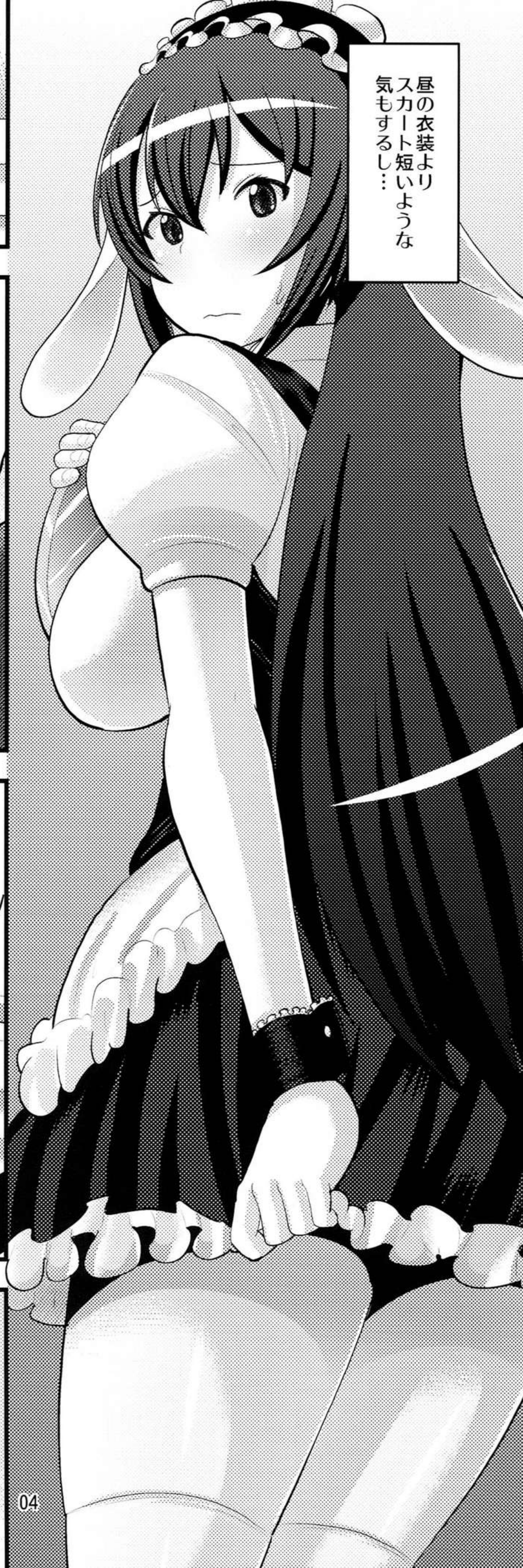
え？



さっ  
こちらへどうぞ

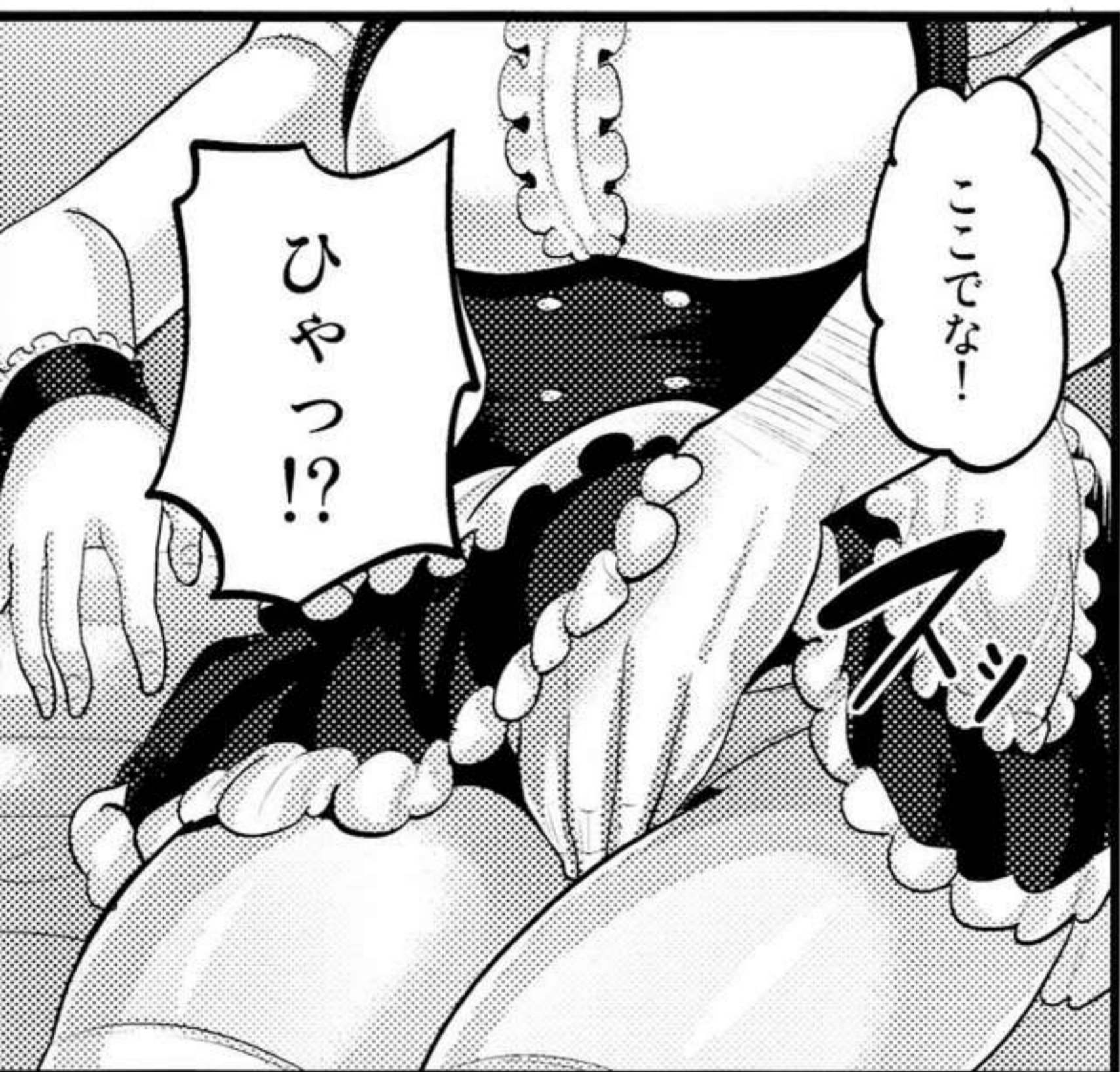
うむ

え？



昼の衣装より  
スカート短いような  
気もするし…









抵抗  
せんのかねえ?♡

ほれ  
ん  
どうしたあ?

あっ!?  
あっ!?



ほれ♡

ひゃんっ!?



覚悟せえよ♡

いっ  
やだっ…  
そんなのっ…



ワシの指テクが  
気持ちいいのか?  
ん?

あ…?

あ…?

う…そ…  
この指…  
何…これえ…



だめ…  
力が…抜けるう…

やめろお…



リゼのこ…

今日はとことん  
可愛がってやる  
からな♡

ひっ

まっ





ほら 指の動きだけを感じろ

まんこに意識を集中させるんだ!

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん



きゅん

きゅん

きもち...いっ...

動き...すこ...

この...指...

ぽんぽん



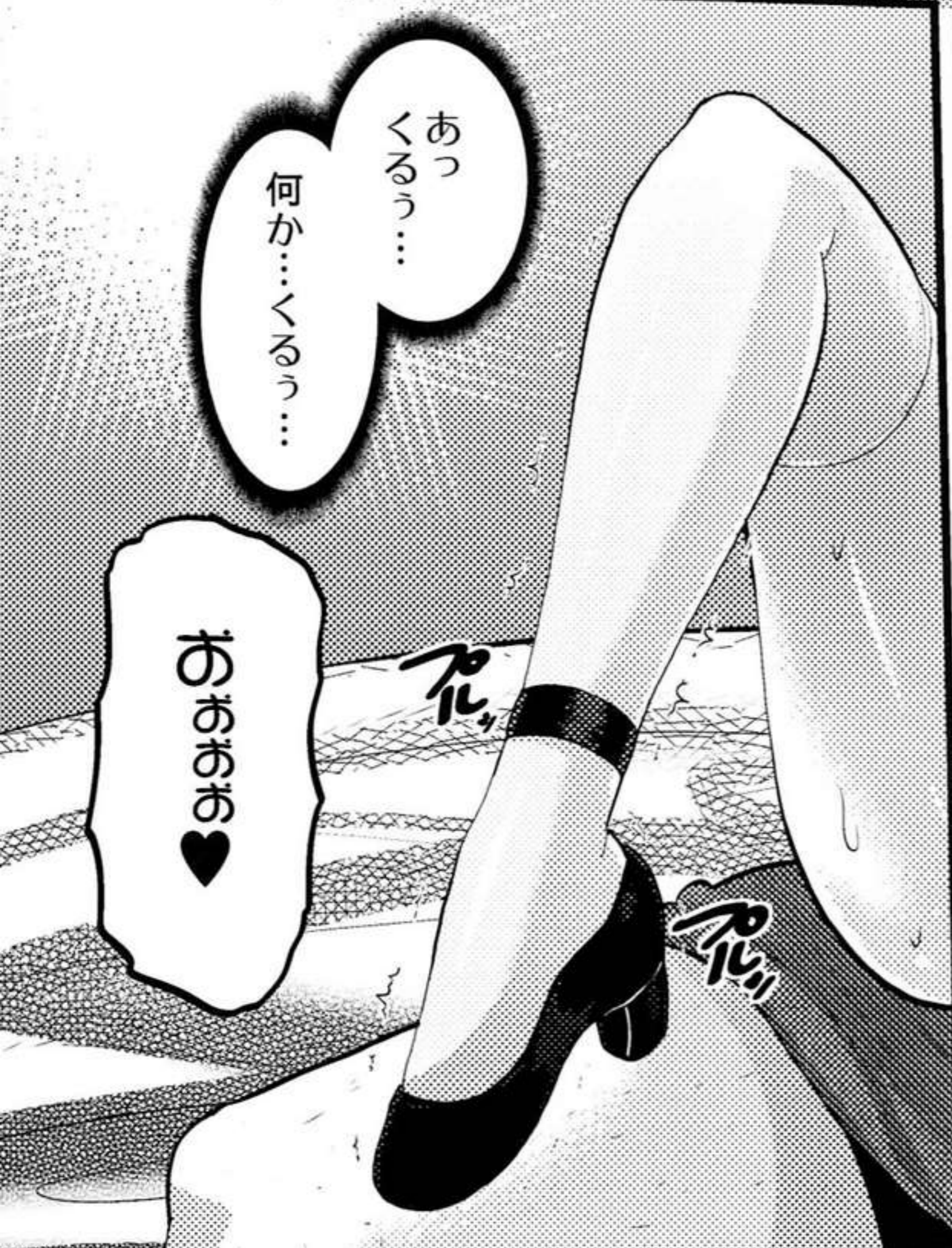
いいぞ ほらっ イけっ

イクんだ!

きゅん

きゅん

きゅん



あっ くるう...

何か...くるう...

ぽんぽん

ぽん

ぽん





何…だ…  
これえ…

この…感覚う…

あ…♡

あ…

派手にいったな♡

びしょ♡  
びしょ♡  
びしょ♡



なに…？

だがこんな事で  
へたっってもらっては  
困るな  
これだから  
本番だぞ？



身体…ケイレンして  
動かない…

あ…

あ…

んん？  
イくのは初めてかね？





ひっ!?

まだウブな  
ピンク色まんこを  
このちんぽで  
変形するくらい  
突きまくってやる!



!!!

ほれ!



まっ…  
待て…!

まっまずい…  
このままじゃ…



ぐんおあおあ



やめろおだ

先っぽ  
入ったぞ



やだっ  
やだあ

ほくら  
ずぶずぶい〜ぞ〜♡





ぐうっ

お腹  
ばんばんで

息できない…

こんな大きいモノが…  
私の膣内にい

挿入ってる…



おおっ  
幼いながらも  
締め付けが素晴らしい…  
さすがはJKまんこ…  
肉圧も凄い

ブルッ♡



ひっ!?

そしてこの乳房



なっ  
何を言って…

わしの妾に  
なつてもらうぞ

気に入った



おっはい…  
揉むなあ…

やめろお…

大きさ肌のはり  
乳首の色  
全てにおいて申し分ない

最高だ♡



わっ私の父は  
軍人なんだ

後でどうなっても  
知らないぞ…!

おおっ  
恐いねえ

なら  
そうなる前に…  
このまだまだ  
発展途上な身体に

女の悦びを  
たっぷり叩き込んで  
ちんぽから逃げられない

いやらしい  
身体に作り変える!

んあっ!

わしが最初の客  
だったのが  
運の尽きだったな

わしに墮とせない  
女などおらん!

ひっ  
もうやめろお…  
やめてくれえ…

んあ  
あ  
あ  
あ



オラっ!  
わし専用の  
女になれ!!

んあ!?



な...何...  
今の...?

身体に...  
電流走ったあ...

あ...?

あ...♡?

くくつ  
さつそく  
見つけたぞ♡

リゼの気持ちよくなる  
所はこの上の部分か

ほれっ♡

ほほ  
れれっ♡♡

んあ!?



んあ!?

んあ!?

んあ!?



亀頭で気持ちいい所  
ほじられながら

子宮突かれる  
気分はどうだね？  
ん？

あひゃん♡  
♡あひゃん♡  
♡あひゃん♡

あひゃん♡

あひゃん♡

相当効くようだな  
舌が回つとらんぞw

♡♡♡

あひゃん♡

あひゃん♡

あひゃん♡

だめだっ  
だめだっ

気持ちよくなるなんて  
そんなんっ…

あひゃん♡





最初は  
もっと手応えのある  
女かと思ったが：

凛々しい顔が  
あつという間  
牝の顔になったな♡

あ〜♡

あ〜♡

まずいっ…

このままじゃ…  
ほんとに…

何も逆らえない  
身体にされてしまうう…



まあいい  
そろそろ決着  
つけるか

あ♡

もうすぐ  
堕ちそうな顔  
しておいて

強情な女め♡

やあ♡…んあ♡



ほれ  
ここゴシゴシされて  
気持ちいいんだろ？

どうなんだ？

あ♡

そんな事♡

あ♡

あ♡





散々  
マツサージした  
腔内に

うっ嘘…  
もしかして  
中に…

トロトロ精子  
注がれたら  
どうなると思う？

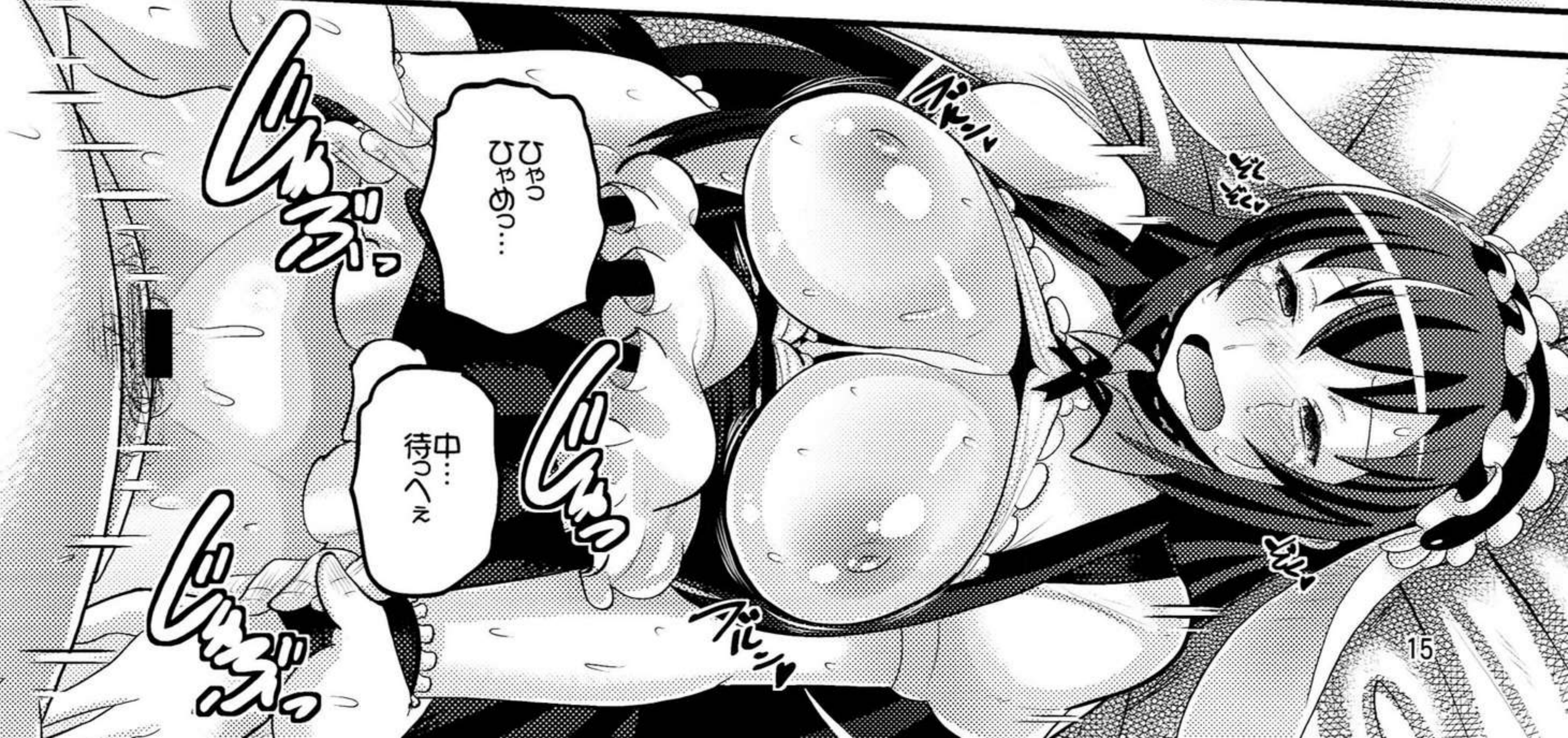
あ…  
ん…？



そんなのされたら  
やばいっ  
絶対  
どうにかなっちゃう

ふふ  
感づいた  
ようだいた♡

やっ♡  
やっ♡  
やっ♡



んんん…  
んんん…

中…  
待つへえ



ほれっ  
出すぞ

だらしの無い  
スケベ顔  
さらけ出しながら

中出しされて  
イけっ!

イって  
わしの  
妾になれ!!

あ♡

待っ♡へっ  
待っ♡へっ  
♡

だめっ  
イッてしまう...

中♡  
ひゃめ♡♡♡♡♡

後戻り出来ない  
身体になるうう...!!

今...  
出されたらあ...

ひゃ♡  
ひゃめ♡♡♡♡♡









あ♡

中出しされる快感を味わったか

もう逃げられんぞ

あ♡

あ♡

あ♡

お前には私の妾に相応しい

ちんぽ無しでは生きていけない淫乱な肉体になつて貰うからな

精子…とぶとぶされて脳みそ蕩けてる…



しかしこんな極上な女を手に入られるとはな

わしも運がいい♡

この時私はこの男から逃げる事ができない身体にされた事を悟った…

ん♡  
あ♡

発行日  
初版2014.08.17  
第2刷2014.08.30  
印刷  
くりえい社  
発行  
AMP  
無断転載・複製禁止

HP:<http://noranero.sakura.ne.jp/>  
mail:noranero@mail.goo.ne.jp







AMP

成人向